

●和歌山県における医療観光について

資料 1

地域医療

● 本県医療の現状・課題

- ・医療機能の偏在（県北部へ集中、回復期機能の不足）
- ・診療科等の偏在（産科や小児科の医師不足、救急科や精神科の医師（病院勤務医）不足）
- ・救急医療、災害医療の体制整備
- ・地域包括ケアシステムの構築

● 本県医療の将来・対策

- ・病床機能の分化及び連携の推進（将来の医療ニーズに対応した医療提供体制の構築）
- ・医療従事者の養成、確保
- ・救急医療体制の堅持、災害医療対策の強化
- ・在宅医療の推進、医療と介護の連携強化

県内の公立・公的医療機関が担う役割は大きい → 県民・地域医療枠を設け医師を適正配置
今後、将来の医師需給バランスも含め、**地域医療対策協議会で議論していく**

外国人医療

- 在留外国人に対する医療
- 訪日外国人に対する医療

【課題】

言語対応、不払い、相談体制など

【国の対策】

- ・地域における対策協議会の設置
- ・医療機関からの相談対応窓口の設置
- ・対応マニュアルの作成
- ・キャッシュレス決済や前払い制の推進
- ・医療コーディネーターの育成
- ・医療通訳など多言語対応の推進

外国人患者受入環境整備

【前提】

地域医療に影響を及ぼさない範囲での実施

● 医療観光

- ・医療機関、観光事業者等の連携
- ・海外プロモーション
- ・ターゲット国の医療機関との連携
- ・国際医療コーディネーターの育成
- ・医療通訳の育成